

早稲田大学
系 属

早稲田実業学校初等部

【理事長】田中 愛治

【校長】森国 吉雄

〒185-8506 東京都国分寺市本町 1-2-1 TEL 042-300-2171 <https://www.wasedajg.ed.jp/introduction/e.html>

【交通】JR中央線・西武線国分寺駅徒歩 10 分

広いキャンパスで、こころも、
からだも大きく成長します。

校訓・校是

「去華就実」 華やかなものを去り実に就く

「三敬主義」 他を敬し、己を敬し、事物を敬す

協同して学び合い、ともに成長する

教育方針 大学までの一貫教育の第一段階であり、人間形成の土台を培う。

教育のめあて (1) 日常的な自然体験をつうじて、たくましさややさしさを育てる。

(2) 頭と手と、からだ全体をはたらかせて、ものをつくりだし、表現する力をのばす。

(3) 自分の頭で考える力、みんなで考える力をきたえる。

(4) 情報社会・国際社会に生きるための基礎となる力をつくる。

初等部から大学までの一貫教育で目標とするのは、「去華就実」「三敬主義」に基づく伝統を踏まえた、豊かな人間性と自主独立の気風にあふれ、広く社会に貢献できる人間の土台をつくることです。

教育は、人間としての全面的な成長・発達をうながし、これを援助していくいとなみです。子どもたちは、集団のなかで、互いに学び合いながら成長していきます。本学では、さまざまな個性の芽をもつ子どもたちが協同して学び合い、ともに成長していく初等教育を創造していきます。

教育環境と学校生活

国分寺キャンパスは、子どもたちがのびのびと成長できるように工夫され、最新の施設・設備が整った理想的な教育環境です。緑に恵まれたキャンパスの広さは 54,257 m²。そのうち初等部は 14,943 m²あり、普通教室と特別教室には、全て床暖房と空調がほどこされ、快適に学習できるようになっています。また、回廊に囲まれた円形の中庭は、明るくひろびろとした遊び場となっています。

日課は画一的にこまぎれにせず、教科や学習内容によって弾力的に運用します。1・2校時と3・4校時はそれぞれ90分ですが、この時間の使い方は、一律に10分の休憩をはさんで40分の授業を二つおこなうというだけでなく、さまざまな時間設定により効果的な授業を工夫していきます。

自主的な時間の管理●チャイムなどの合図は、必要最小限にとどめます。低学年のうちから、自分で時間を管理する習慣を育てます。

週5日制●学校週5日制を基本としますが、土曜日に父母が参加する行事をおこなうことがあります。

服装・持ち物●制服を着用します。かばん、帽子、体育着、上履きなども学校指定のものがあります。

上級学校に進むには

中等部には、原則として全員が進学できます。ただし、中等部から高等部への進学の際も一定の基準があり、高等部から大学への進学も、本人の希望と人物・成績などを勘案して推薦していますので、無条件ではありません。



沿革

1901年、早稲田実業学校は、大隈重信の教育理念を実現し、特色ある中等教育を推進するために創設された。創立百周年を迎えた2001年、早稲田鶴巻町から国分寺市に移転した。2002年4月には、中等部・高等部とも男女共学とし、新たに初等部を設置した。

2023年度募集要項 [前年度]

募集人員：第1学年108人（男子72人、女子36人）

願書頒布・出願期間：詳細はHPに掲載
検定料：30,000円

【入学試験（2023年度参考）】：

[1次試験] 考査：本人のみ（生活・運動・認知・情緒・創造性等）

（試験日）11月1日～11月5日のうち1日を指定（1次合格発表日）11月7日

[2次試験] 面接：本人・保護者

（試験日）11月8日～11月10日のうち1日を指定（2次合格発表日）11月12日

【かかる費用（2023年度参考）】

入学金：350,000円（入学手続時）

施設設備資金：300,000円（入学手続時）

学費等：770,000円

※その他、ICカード費用、給食費が別途かかる

学校説明会・見学会

◆学校説明会：5月28日（日）

（早稲田大学大隈記念講堂で実施）

◆学校見学会：9月2日（土）9:00～12:00

（校内自由見学）

併設中学進学状況

早稲田実業学校中等部

（非公表）

データパック

◆児童数 651人／教員数 45人（前年度）

◆23年度応募者数：男子 744人、女子 548人

◆合格者数：男子 80人、女子 45人

【併設校】

○早稲田実業学校中等部・高等部

○早稲田大学（系属校）